

第41回 セルフケア事例検討会 レポート

平成28年12月3日に、いわき市の舞子浜病院で事例検討会を行いました。県内各地の精神科病院から24名の方々に参加いただき、活発な意見交換が行われました。

参加者された方々から次の様な感想をいただきました。次年度も継続していきたいと思いますので、皆さまご参加ください。

☆ 多角的な視点から得られた情報をつなげていくこと ☆

- ・いろいろな視点から意見があり、病状の理解も含めとても参考になった。
- ・多方向から考えるということが具体的に理解できた。
- ・1つの場面からその事の意味が次々と明らかになり、すっきりした。
- ・1つの質問から患者へのアプローチまで考える事の必要性がわかり、思考のプロセスを学ぶことができた。
- ・アセスメントがつながっていったが、つなげていくことの難しさも感じた。
- ・自分たちの看護を語ったり、意見をもらったりすることで整理することができた。
- ・良かったこと、不足していることが明確になり、看護ケアの方針がわかった。

☆ 患者を主体とした丁寧な関わり ☆

- ・チームで本当によく看護していると感じた。
- ・患者さんに対するスタッフの努力が、細やかに知ることができた。
- ・スタッフは患者さんの良いところを見ていた。
- ・決して変わらないということではないとわかった。
- ・きめ細やかに関わることの重要性を再確認した。
- ・「患者のために」の発言が多く、大変参考になった。
- ・患者さんには思いがあり、その思いを知る必要性を再認識した。
- ・患者本人や家族への関わり方を考えていかなければならないと思った。

